

山行報告書

報告書作成

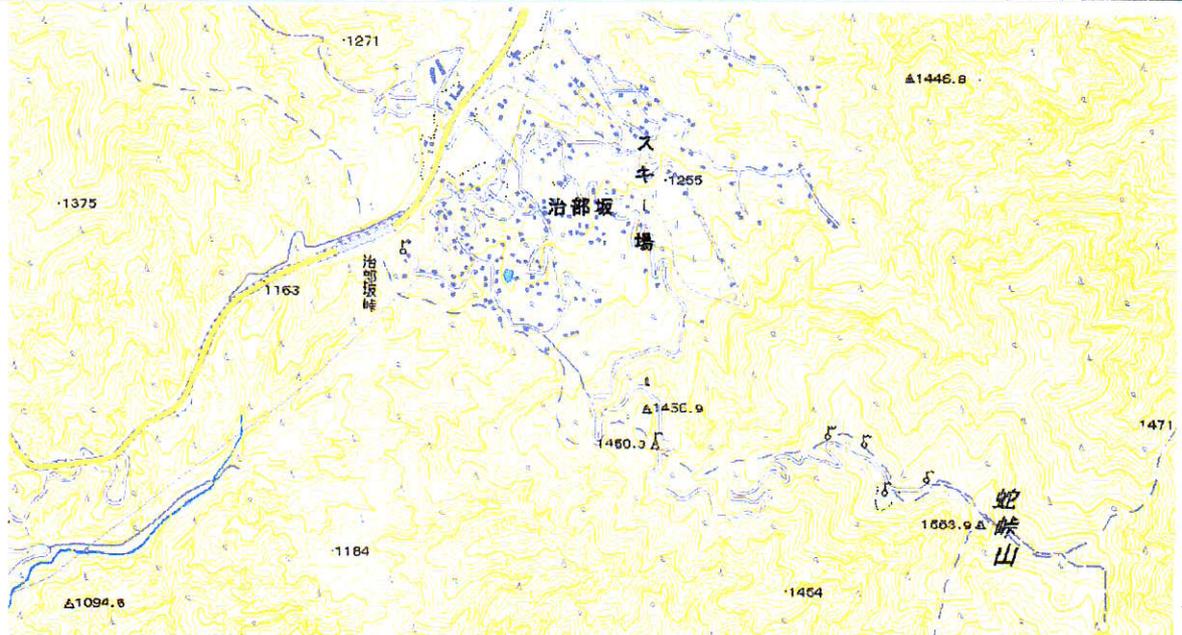
2008年1月8日

山名 [山域]	蛇峠山(山スキー)	目的と方法	山スキー入門
登山期間	12月22日(土)	山行形態	日帰り
参加人数	7人		

行動記録

岩津市民C(630) == 治部坂高原スキー場(810 845) -- 馬の背(1000) -- 蛇峠山山頂展望台(1120 1150) -- 治部坂スキー場(1300 1320) == 宿り木の湯(1400 1530) == 岩津市民C(1730)

概念図



日誌

積雪情報では40センチの積雪があるとのことだったが、あくまでもスキー場のことで頂上に向かう道は所々アスファルトがむきだしになっていた。治部坂スキー場Pを出発し40分くらいは板を背負い徒歩で行く。休憩を挟み板を履き登っていくが、はじめはコツがわからず無駄な体力を使ってしまった気がする。少し慣れてきたところに雪がなくなり、仕方なく板をはずし担いで登っていく。板を履いたりはずしたりで面倒でもあるし結構時間がかかってしまった。馬の背(1400M)ではまわりの景色は曇っていてあまり見通しが良くない。山岳会に入って初めての山行で登った大川入山が見えたのが嬉しかった。ゲート前まで滑ってみたが、へっぴり腰になっているのがわかっていたが、なんとか下ることができた。スキーは10年振りで恐怖が先にたっていたが、以外に滑れて？よかった。ゲートから山頂に向かうがこちら所々雪がなく板を担いで行った。スキーを履いているよりも担いでいる方が多いくらいに思えた。山頂に着き、先に着いていたつぼ足隊と会う。いただいた甘酒がおいしかった。30分ほど休憩した後、出発。下りも板をはずしたり履いたり繰り返した。スキー場にての検定があり、全員合格だった。とりあえず降りてくることは出来たが、降りてきただけで、すべりがどうのとは全く言えないものだった。あっという間に滑り終わってしまい、スキーを滑ることに 대해서는これから練習をしなければと思った。そして、体力もつけなければと課題が残った。

感想

山スキーはとにかく体力、スキーの技術が必要だと思った。今回は楽しむことよりも、これから体力をつけること、スキーに慣れることをこれからの課題として練習したいと思う。早く『楽しめる山スキー』にしたい。